

岡山県地区防災計画 和気町宮田地区

令和3年11月21日

日本防災士会岡山県支部

防災マップ作成 進め方

・ 防災マップってなに？

「防災マップ」は、自然災害に対して住民が安全に避難し生活するために必要な情報を集めた地図。住民が作成し共有します。

「ハザードマップ」は、主に自然災害の被害予想地図のことで、自治体が作成し住民に配布します。

・ 防災マップ作りの目的

- 1 災害時わが街の強さと弱さに気づき住民で共有する。
- 2 被害予測と照合し安全な避難計画を策定する。
- 3 協力して避難生活を送れる為の基本情報になる

・ 被害想定

この地区で相談して災害を決める。

- **班の結成**

防災マップ作成対象地区ごとに班を割り当てる。

- **主な役割**

班長、カメラ、アシスタント、撮影記録、地図記録

- **まち歩き**

役に立つもの、危険なもの、その他を点検し記録する。

- **地図にまとめ**

大きな地図にまとめる。写真印刷、写真番号と名称を記載
色ドットを貼る。地図上に写真番号を書き込む。

写真の位置を決める。

写真を固定する。

防災マップ作成 チェックポイント

• 役に立つもの

人が集まる場所	学校、集会所、公民館、公園、広場、 神社、寺、駐車場
火災消火	防火水槽、消火栓、ホース収納、消防団詰所
何か調達できそう	自動販売機、お店、企業、工場
医療関係	病院、医院、AED
防犯、防災	交番、警察署、消防署、市役所、防災倉庫
生活	ゴミステーション、広報掲示板、公衆電話

- 危険なもの

壊れそうなもの

落ちる、飛んでいく

道路

水辺、低湿地

傾斜地

空き家、ブロック塀、落ちそうな看板

飛びそうなトタン屋根、古いコンクリート
構造物

狭小道路、トンネル、古い歩道橋

川、沼、池、ため池、湿地帯、用水路

がけ、急傾斜地、岩が落ちてきそうな所

- その他

字界

災害履歴

その他

地区と地区の境界、行政区の境

過去に災害があった所

行き止まり、暗がり、孤立したところ